

こんにちは 新社会党です



委員長 岡崎ひろみ

東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3階 TEL 03-6380-9960 FAX 03-6380-9963

週刊新社会

2020年4月号

発行所：新社会党 発行者：岡崎ひろみ

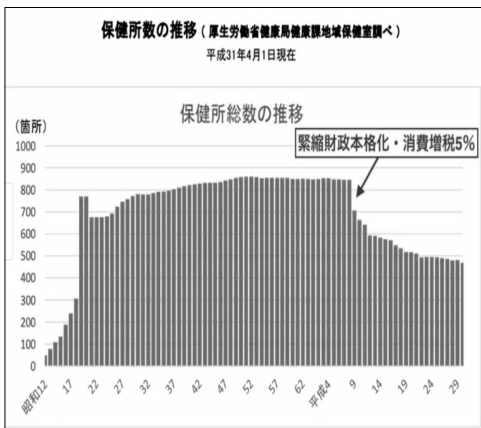
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3階

TEL 03-6380-9960 FAX 03-6380-9963

振替 00140-0-149727 1ヵ月600円 1ヵ月150円 1ヵ月41円

http://www.sinsyakai.or.jp E-mail: honbu@sinsyakai.or.jp

安倍政治のツケ 新型コロナ・医療分野にも



今回の新型コロナウィルスの世界的な流行は「早期発見・早期治療」を原則とした、ウィルス検査数の問題があります。3月18日現

なぜコロナ検査が進まないのか？

新型コロナウィルスの問題は深刻な事態を招いています。そこで浮上したのが日本の医療政策や制度の問題です。いくつかの事例を通じて考えると、安倍政権で進行する医療分野の経費、従事者の削減等が対策の遅れの一つの要因と言えます。

◇全国の保健所
20年間で226削減
◇病院ベット数
9年間で約26万床も削減

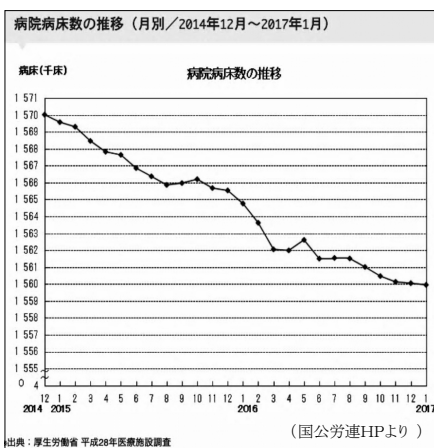
潜在的ウィルス感染者は隠す

在、PCR検査数は中国が32万件、韓国25万件、イタリア8万8千件、ロシアが7万7千件に比べ、日本は1万8千件です。政府は一日で7500件が検査可能といっていますが進んでいません。

安倍政治・医療の切り捨てへ

と見せかけるための指摘もあります。また、政府の医療分野の切り捨て政策が起因ともみられます。

厚労省は「帰国者・接触者相談センター」が紹介した場合は保健所を経由し検査の可否を判定してきました（現在は保健所以外も可能）。なぜ「帰国者、接触者外来」



に限定し、保健所経由とするのでしうか。PCR検査の数を減らし、感染確認者の数を減らすためとしか思えません。また、なぜ保健所が検査受付けを断る事態が生まれたのでしょうか。1994年以降の保健所の統廃合で数と人員を削減した結果、手が回らないのが実情です。また、感染重症者が拡大すると、全国の病床数を削減してきた結果、全国的に受け入れ態勢が脆弱なためと思われます。

安倍政権は2014年の「医療介護総合確保推進法」で医療・介護の見直しを開始。2019年9月には全国424病院の再編のリストを公表しました。医療分野でも安倍政治のツケが回り、コロナ対策・医療サービスの切り捨てとなって表れています。